

物価高騰

3つの

討議資料

緊急対策提言!

物価高に賃金の値上げが追いついていません。

年金生活者は食費を削って生活しています。

皆川ともこは物価高騰緊急対策を提言し、実行します!

- **全世帯に米の引換券(5000円)を支給します。**
- **2月~3月に実施された水道基本料金免除を継続します。**
- **小中学校の給食費を完全無料化します。**

◆皆川ともこさんのプロフィール◆

- 1965年生まれ。60歳。2男1女の母。栃木県真岡市出身。
1987年に国立宇都宮大学教育学部を卒業。2001年から八千代市萱田町に在住。
- 1987年に栃木県立養護学校教員。1990年から千葉県に移住し、2006年まで市原市立戸田小学校、市原市立姉崎小学校、千葉市立第二養護学校、八千代市立勝田台南小学校、千葉県立千葉特別支援学校の教員を歴任。とりわけ、障がいのある子どものための教育に奮闘する。
- 2006年の八千代市議会議員選挙に立候補し当選。2014年まで2期8年を務める。
- 2016年から新聞社、会社顧問などを勤め、現在に至る。2015年に児童発達支援管理責任者資格取得。

●発行: 市民が主役の市政を実現する会 ●連絡先: 090-6473-3172(三田 登)

●発行日: 2025年4月 ●ホームページ: <https://yachiyo-syuyaku.net/>



皆川ともこ

さんを

みな が わ

励ます 市民の 集い!

是非 ご参加を!

主催: 市民が主役の市政を実現する会

日時: **4月26日(土)**午後1:30~3:30

会場: 八千代台東南公共センター(5階ホール)



公約違反を続ける服部市政の刷新が必要です ～全力実現! 皆川ともこ・7つのお約束～



1 市長報酬50%減額を 実行します

八千代市長の1期4年間の平均年収は約1300万円。1期4年間の市長報酬50%減額して市民サービスの原資に活用します。



2 子育て支援を 拡充します

保育園は増設されていますが、まだ待機児童問題は解消していません。ひとり親家庭支援や障がい児問題にも取り組みます。高卒までの医療費を窓口無料にします。1クラス20人～30人の少人数教育を実施し、学校給食は自校方式にして地産有機野菜を使用。給食費を無料にします。



3 交通弱者の足を守る 施策を推進します

市民の足を守るためにコミュニティバス、デマンドタクシーを全地域で運行させます。東葉高速の運賃値下げ問題については、関係3自治体の協力を強化して国に長期債務の負担軽減、利払いの軽減を要求。運賃値下げと京成線並みの定期券学割率をめざします。



4 国民健康保険料や 介護保険料の値下げを

八千代市の今年度国民健康保険料は高いので、国民健康保険事業財政調整基金から補てんしましたが、介護保険料は値上げとなり、市民の負担は増えています。さらなる基金の活用や一般会計からの繰り入れで値下げを実施して県内でも高額な保険料の市民負担の軽減をします。

5 公共施設再編は 市民合意で

公共施設の24%削減＝公共施設等個別施設計画に反対します。公共施設の再編は市民合意を前提とします。また、新市庁舎建設費用が膨張し続け、現段階でも約130億円となっています。市庁舎整備費用は最大限、圧縮します。少年自然の家廃止は白紙撤回し、存続させます。



6 農業、商業、工業の 振興と活性化を

再生可能な自然エネルギーを推進。地産地消、食の安全を重視し、生産者と消費者との共同で農業を振興、産業振興基本条例を制定します。空き店舗の借り上げなどへの補助制度を設け、商店街の活性化を促進します。

7 八千代医療センター 問題の早期解決

5年にわたる八千代医療センターの常勤医・看護師不足で市民は大変辛い思いをしています。この間、服部市長は傍観するのみでした。八千代医療センターは地域医療の中核です。市民の命と健康を守るために皆川市政のトップ交渉で早期の問題解決をします。